



# 市長と

# 車座トーク

## 第14回 内海学区（概要）



開催日時 2017年（平成29年）3月22日（水）

19:30～21:00

開催場所 うつみ市民交流センター

参加者数 9人

次第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### <車座トークでの主なご意見>

- ・ 内海大橋から横島を一周回る道路は、すばらしい眺望で観光客も多く、夏になると海水浴客も多く訪れる。しかし、離合箇所が少ないことと、梅雨時期には山の斜面が崩れる。とっても良いところなのに交通が不便で残念だと言われる。
- ・ 内海公民館から農道に通じている避難道の整備工事が進んでいない。公民館の土地は海抜1.6mで、南海トラフ地震が起きると水没してしまうので早く整備して欲しい。土地買収が済んでいるのになぜ進まないのか。高い所に逃げるために一番通りやすい道路なので早く整備して欲しい。
- ・ 在宅介護をしている。自宅で介護をしている4人に1人は介護うつだと言われている。

相談窓口が身近にあり、介護を受ける人が受けたいと思えるサービスを増やして欲しい。一番困っているのは一緒に暮らしている家族。施設に預ければいいと思われるかもしれないが、罪悪感をもつ家族の感情は複雑。在宅介護者の生の声として受け止めて欲しい。

- ・内海小学校の統廃合について、今まで説明会が2回あった。2020年を目途に沼隈と統合になる。小学校の存続について今後どうなっていくかというのが、まだはっきりとはわからない。今後のことについてわかるようにして欲しい。
- ・中学校の統廃合について、保護者の代表が教育委員会と話をした。他の保護者は話し合いにも参加できないので、自分の意見も言えない。不安に思っている。
- ・中学校には常石の方から通っている生徒もいる。内海の良さが伝わり、毎年内海以外の方も来てくれる。魅力があるから来ているのに学校がなくなる。小学校も中学校も内海から消える。内海に学校があるから引っ越して来た。学校を無くして欲しくないと思う。
- ・海岸沿いは危ないので、自転車も歩道を通って中学校に通っている。歩道に石が非常に多くある。子どもが自転車で乗り上げてパンクが絶えない。山から石が落ちないように対策をして欲しい。歩道に竹が垂れ下がるので、よけきれない。先生が切りに何回か行ってくれる。危険なガラスが落ちている所も、何か所かある。子どもたちが危ない。
- ・10年前から900頭のイノシシを駆除した。一週間ほど前に、軽いケガですんだが、初めて人的被害があった。集落の有志で一万円ずつ出し合って、ワイヤーメッシュや杭などを設置し対策を行った。市で半額補助してもらえた。荒廃地の樹木や竹藪の伐採をするとイノシシが出てこないようになると聞いたが、集落ではチェーンソーを持っている人がいないので、伐採の機材などに使える補助があると助かる。
- ・高齢化率が一番高いのが内海町。次いで鞆・走島と南部が1位2位を占めている。グループホームやデイサービスなど施設的にはかなり進んでいる。高齢者の中には元気な高齢者もたくさんいる。そんな人たちの集まる場所が少なくて残念。提案だが、海が見えるところに、保養施設を作ったらどうか。
- ・内海は過疎化・高齢化が進んでいる。学校の統廃合で子どもたちがいなくなったらどうなるのか。内海に若い家族が住もうと思わない。高齢化が余計に進むのではないかと懸念する。活性化のカンフル剤・得策があれば教えて欲しい。
- ・内海町の将来を考える会で、空き家対策は、4年前から取り組んでいる。空き家を危険家屋にするのではなく、宝として活用方法を考えてきた。会員がすべて、ボランティアとして家主との交渉や入居希望者との調整を行った結果、2016年12月までに28世帯、82人(内子どもが23人)の移住があった。
- ・婚活事業は、2016年12月までに4回イベントを実施し、しまコンで出会った女性と島の男性が結婚することができ大変喜んでいる。市全体として取り組むべきところもあると思うので支援など考えていただきたい。
- ・民泊事業は去年の5月から始め、第1回目を東京の開成高校から100人の生徒が来て話題になった。去年は5校で658人の生徒を迎え入れ、今年は5校で850人、来年は4校で500人の受入れを予定している。内海町の今ある自然と生活、生業をそのま

ま伝えることによってここに経済効果も生むというのが民泊のいいところだと思う。内海支所と沼隈支所ももう少し力を入れて、地域の活性化に横断的な支援をして欲しい。

- ・市から学校再編の指針が出る2年前に、要望書を出している。内海は少子化で生徒数が減ることはある程度理解できる。そのままということは無理と思う。小学校と中学校、そして保育所を含めて一貫校の設置で、全国モデルになるよう是非検討をお願いしたい。
- ・2011年にマダニの事故があり、市民が被害に遭った。外で作業する際に使う殺虫剤の購入について市の窓口へ相談すると、特定の事業者を教えることはできないと言われる。窓口で、地域の実情を知ろうという気持ちがないと、本当の市民目線の行政はできないと思う。事業や団体の活動にも地域の課題がある。効率的に地域実情を把握するような方法を考えて欲しい。もっとスピーディーに物事が解決していくのではと思う。

### <市長のまとめ>

- ・横島を一周する道路については、市道部分と県道部分があるが、いずれも事業は進んでいない。合併建設計画に位置付けられた事業でもあり、着実に整備をしていかなければいけないと思う。
- ・道路の整備については、地権者の理解が得られないとなかなか進まないという問題もある。道路の整備を進めようという町民の意思があれば、道路の整備事業も進んでいくということかもしれない。
- ・災害時に山へ上がる道路の整備について、一部しかできていない。この道路は漁港整備集落道で水産庁の予算で整備をしている。東日本大震災の関係でかなりの予算も人手も今東北へ行っている。同じような課題を抱えている地域が全国にあるが、事業がやはり遅れている。我々の地域は南海トラフ地震が今後近いうちに相当な確率で起こるという意味では新たな危険が迫っている。水産庁の理解を得ていきたい。これまで以上に地域の皆さん方の声を県や国に届けていきたいと思う。
- ・小学校、中学校の統合、再編の問題について心配もよくわかる。是非存続をさしてくれという強い気持ちについては、当然のことと思う。「どうなっているのかわからない、不安だ」、これは最低限すぐさま解決しないといけない。今、福山市がおかれている状況や、「いつまでにこういうことを考えている。」という状況を、PTAの役員だけでなく、保護者の皆さんや地域の皆さんに説明する機会を作らないといけないと思う。保護者や子どもの皆さんの不安を解消したいと思う。
- ・小学校の再編計画についての説明の機会をこれまでに6回持っている。もっと広い人に説明するような機会を持つ必要があったかもしれない。教育委員会もしっかり意識して説明の段取りを考えている。しっかりとした説明をさせていただきたい。ただこの再編という問題は避けては通れない。福山だけでなく日本全国が同じ課題に直面している。現実には毎年多くの学校が、地域の交流や活性化の場に生まれ変わってきている。確かに子どもは地域を元気にしてくれる。子どもが地域から見えづらくなるというのは、地域の元気の維持からいえばとても寂しいことと思う。

- ・ これからの時代は、介護や子育てにしても今までと同じことは続けられない。これからの新しい時代を今までと違うやり方で、どう乗り切っていくのか。我々もそうしたことも念頭に置きながら一緒になって考えていかなければならない。再編ありきでは全くない。何が正しくて何が間違っているか、そんな白・黒で結論を付けられる話ではない。現実を踏まえながら、新しい時代へどう臨んでいくのか、どういう社会を子どもたちに作っていいのか。是非説明を聞きながら皆さんに意見を出してもらい、議論を整理していきたいと思う。
- ・ 通学路の石の問題については場所を確認する。場所がわかれば、原因の特定、原因が特定できれば、どういう関係者で対応するかなど課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思う。竹や木の問題も含め、山が私有地であれば所有者の方に適正な管理をしていただくこともある、PTAの方にも手伝いをお願いすることになるかもしれない。子どもたちや市民の通行に支障がないようにしたい。子どもの安全に直接関わる問題ですから。
- ・ イノシシ対策のために伐採する機材の助成制度について、10戸以上で組織された地域の団体の補助制度として、鳥獣被害対策地域活動支援事業がある。チェーンソーも補助対象になるので、具体的な説明をさせていただければと思う。
- ・ これからの時代なかなかすぐに何か施設を作るということにはならない。色々公共施設を統廃合していく過程で、地域の特性を生かし工夫しながらしていくことと思う。
- ・ 「何か活性化のための方策を教えて欲しい。」という意見もあったが、若い人は自分で考えてこれをやりたい、そのために支援などが必要なんだと言って欲しい。モデルケースとして全国に発信することを考えたらいい。内海に自然や色々な資源があるのなら、「自分はこういう仕事をしてみたい。」と、移り住んでみたいと思う人が出てくるかもしれない。地元の人はそれに応えていく。民泊ももっと盛んになっていくかもしれない。新しい内海、これからの内海の将来を、考えていければ活性化のヒントも出てくるかもしれない。
- ・ 福山の持っている魅力とか強みとかをうまく発信しきれていない。素晴らしい内海や鞆の浦、広瀬や山野など、海や山の観光地がある。歴史や伝統に力がある。もっと情報を発信していきたい。情報発信戦略会議で内海の実情のあり方を検討してもらおうと思う。
- ・ 地域に一番近い支所の機能をしっかりと強化していきたい。皆さんも支所のほうに話を持ちかけていただいて、支所から本庁につながるような関係を作っていきたいと思う。

### <地域からのあいさつ>

みなさんありがとうございます。市長さんにはご多用の中、内海町でこのような場を作っていただきました、さきほどから様々な要望も出てまいりましたが、我々の話に真剣に耳を傾けてくださり、丁寧にご説明を頂きました。本当に充実し意義ある時間を過ごすことができ本当に感謝いたしたいと思います。私たちもこれから一つ一つの課題に取り組んで住みやすいまちづくりに努めてまいりたいと思っております。今後とも、行政のご指導を賜りたいと思っております。